

# 東西条地区住民自治協議会だより



「人と歴史が緑を醸す笑顔と交流のまち東西条」

第53号

令和3年11月25日発行

東西条地区住民自治協議会 事務局 TEL/FAX 082-421-2023

## 朝晩めっきり寒くなりました。1年の締めくくりの師走を迎えます。

今年の秋は、10月中旬まで、秋晴れで気温の高い日が続きましたが、急に朝晩が寒くなり、まるで夏の残暑から突然に晩秋になったようでした。これから更に気温が下がり、冬の寒さがやってきます。皆さん体調管理に気を付けてお過ごしください。

まもなく、12月。師走を迎え、1年の出来事や課題を振り返って締めくくり、気持ちも新たに、来たる年を迎えたいと思います。

昨年1月から続くコロナ禍で、住民自治協議会の行事も延期・中止となるものが出ています。現在は、全国的に新たな感染が減少し、東広島市では感染者が出ない日が多くなっていますが、これから、このまま感染者数が減少していくのか、寒さが厳しくなると第6波の感染拡大が起きるのか、見通せない状況です。

自治協の活動は、今後の感染状況等を勘案しながら取り組んでいくこととなります。「検温」「手指の消毒」「マスクの着用」「3密の回避」などの感染防止対策を徹底して行事を実施し、「安全・安心で明るく住みよい地域づくり」を進めてまいります。引き続き、住民の皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(東西条地区住民自治協議会会長 井林宏司)

## 「市民協働のまちづくり・夢トーク(西条北地域) 地域づくり推進課

### 『高垣市長、副市長、地域振興部長ほか出席されます』

(趣旨) 住民自治協議会の制度開始から10年が経過する中、それぞれの住民自治協議会で地域の活性化や課題解決に向けて、注力や工夫してきた活動を広く共有するとともに、紹介された事案を参考にさらなる活性化に向けて共に考える「市民協働のまちづくり 夢トーク」を開催します。

(開催日時) 令和3年12月5日(日) 13:30~16:00

(開催場所) 寺西地域センター 大ホール

(内容) ①第5次総合計画地域別行動計画の策定状況について

②自治協発表(5自治協)・・・「イチオシの地域活動の紹介」 (美しいイチョウの落葉)

ご参加希望の方は地域センター内、東西条住民自治協議会の事務局まで!



## まちづくりにおける課題解決のため、会長と事務局が『ヨコの交流会、事務の効率UP・すきかも活用講座』等に参加

①9月9日、10月14日自治協議会“ヨコ”交流会がオンライン(Zoom)会議で行われました。市内8つの自治協議会役員と市民協働センターとで活動内容の情報交換や「今後自治協として取り組みたいこと」「コロナ禍になって取り組んだこと」「担い手問題・担い手育成づくり」など活発な意見が出ました。

②11月12日、事務の効率を高める会で「アンケートフォームやQRコード作成方法」などを学びました。Googleのプラットフォームを利用して各種アンケートの作り方と集計・調査評価が簡単です。

③市民活動情報サイト「すきかも」を見たことがありますか?地域センター・住民自治協議会の活動が掲載されています。地域の情報掲載もいたします。

## 12月・1月の行事予定 ※未定の事業もあります。

12月1日(水)減らそう犯罪・交通事故防止、県民縦ぐるみ運動

12月12日(日)通学路ごみ拾い(環境美化部会・公衆衛生推進協議会)

12月18/19日(土日)子ども民生委員体験活動(福祉部会・民生委員)

R4年1月18日(土)東西条小とんど(自治協地域活性化部会) (保留検討中)

## 「子ども民生委員体験活動を今年度も実施しています。」

平成25年度から実施しているこの活動は、小学校の児童が地域にお住いの一人暮らし高齢者宅などを「子ども民生委員」として訪問し交流してもらう事業です。毎年9月と12月に各地域で実施していますが、9月はコロナ禍で中止となりました。12月は18日/19日で実施予定です。今後はさらに参加者の拡大や活動のさらなる浸透を進めていきたいと考えています。これからもご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。(福祉部会長 原弘)



## 東西条小学校スポーツ少年団・バレーボール男女、頑張ってます!

10月31日(日)「第33回広島県小学生総合体育大会」が三次市であり、バレーボールの部に出場し頑張りました。次回は11月21日、TSS杯大会が広島市内であり、男女とも出場しますので応援お願い致します。また部員募集もしております。(スポーツ少年団バレーボールの世話人まで連絡下さい)



《大会の男女部員の様子》  
現在、女子13名男子14名  
合計27名で活動しています。

## 「2021流行語大賞ノミネート30語」(新聞記事より)

今年の世相を反映した言葉に贈られる「現代用語の基礎知識選 2021ユーキャン新語・流行語大賞」のノミネート30語が11月4日発表された。象徴的だったのは、スポーツ関連から生まれた言葉の復活だった。昨年はコロナ禍の影響でイベントが相次ぐ中止、延期、無観客開催も続き、史上初めて選出がなかった。今回は1年延期された東京五輪・パラリンピックから続出した。例えば「ぼったくり男爵」「カエル愛」「ゴン攻め/ピタピタ」「スギムライジング」「チキータ」「チャタンヤラクサーンクー」「ピストグラム」「13歳、真夏の大冒険」など。また昨年は半数の15語を占めたコロナ関連は「自宅療養」「人流」「変異株」「副反応」「黙食/マスク会食」「路上飲み」などでした。その他では大リーグの大谷翔平「ショータイム」「リアル二刀流」や「SDGs」「うっせえわ」「押し活」「親ガチャ」「ジェンダー平等」「Z世代」「ヤングケアラー」など。いくつか分かりましたか?年間大賞とトップ10は12月1日に発表される。(事務局)